



※『行政自治会だより』は古河市公式ホームページ（市民協働課）からも  
ご覧いただけます。

回覧

# 行政自治会だより

令和5年12月1日発行

第36号

■発行所／古河市行政自治会

事務局 TEL 0280-92-3113

■発行人／会長 湯本 豊

## 第14回古河市行政自治会親善バレーボール大会



開会式での委員長挨拶、  
イーエスはなもも体育館



開会式での選手一同、  
イーエスはなもも体育館



4人制ソフトバレーボール、  
イーエスはなもも体育館



9人制バレーボール、  
ゴヨーふれあいスポーツセンター

8月27日（日）に第14回古河市行政自治会親善バレーボール大会が行われました。競技種目は2種類で、9人制バレーボールの部と4人制ソフトバレーボールの部に分けられ、それぞれ熱い戦いを展開しました。会場は9人制が「ゴヨーふれあいスポーツセンター」、4人制が「イーエスはなもも体育館」で行われました。体育館は冷房が効いており、暑い真夏の日に最適な環境でした。9人制では ①男子の部（6チーム、2ブロック）②女子の部（5チーム、1ブロック）③男女混合（2チーム、1ブロック）でそれぞれブロック優勝をかけて対戦しました。

4人制ではフリーの部とシルバーの部に分けられ、フリーの部では22チームが4ブロックに分かれブロック優勝をかけて対戦しました。シルバーの部では4チーム、1ブロックでした。

### 9人制バレーボールの優秀賞チーム

分類	ブロック	優秀賞チーム
男子の部	Aブロック	大堤行政区
	Bブロック	上大野行政区
女子の部		女沼行政区
男女混合の部		関戸行政区

### 4人制ソフトバレーボールの優秀賞チーム

分類	ブロック	優秀賞チーム
フリーの部	Aブロック	下大野行政区
	Bブロック	小堤グリーンタウン
	Cブロック	三杉町自治会
	Dブロック	諸川東西松原B
シルバーの部	Aブロック	諸川上町・中央町(合同)

(広報委員 関 一郎、白戸 正)



高齢者の介護予防を目的とした「いつでも、どこでも、だれでも」出来る体操を見学して、これからの高齢者同士のコミュニケーションは、そう、これだと思いました。



床に座って行う体操 ①

7月19日（水）、三和農村環境改善センターホールで開催されたシルバーリハビリ体操に第19地区の高齢者が参加したので取材しました。

古河シルバーリハビリ体操指導士の会に話を伺いました。

『外でのスポーツが苦手な人でも気軽に参加が出来、健康促進及びコミュニケーションが取れます。シルバーリハビリ体操は、茨城県立健康プラザ管理者の医師で、介護予防の第一人者でもある大田仁史先生が考案した体操で、「シル・リハ体操」の愛称で親しまれています。年を重ねるごとに動かしにくくなる関節の動きを維持、拡大するとともに筋肉を伸ばすことで立つ、座る、歩くなど日常生活の動作をラクにする効果がある体操です。』

古河シルバーリハビリ体操指導士の会 会長 上野里子様より

古河市では、県から認定を受けたシルバーリハビリ体操指導士が、ボランティアで地域の公民館等にて体操教室を開催しています。シルバーリハビリ体操で日頃の運動不足を解消し日常生活を元気に過ごしましょう。

問い合わせ先 古河市高齢介護課 0280-92-4921

(広報委員 小林 浩二)



床に座って行う体操 ②

## 第6地区 常盤台自治会の夏祭り

第6地区の常盤台自治会では8月6日（日）に4年ぶりに夏祭りを開催しました。当日は朝の7時30分からテント張りを行い、神輿を外に出してのぼりを立て、千寿会（老人会）や子ども班（子ども会）の保護者たちが「スーパーボールすくい」や「スイカ割り」の準備で10時30分までかかりました。11時から「かき氷」、「ヨーヨー」、「輪投げ」、「スーパーボールすくい」などの行事を行い、13時30分には終了となりました。4年ぶりの祭りで子どもたちは大いに夏を満喫しました。

(広報委員 関 一郎)



常盤台の神輿



スイカ割りを実施

## 第7地区 夏休み子ども会イベント

### ～ファミリーコンサート～

第7地区のひばりが丘自治会と子ども会は、8月20日（日）に三和いこいの家で夏休みファミリーコンサートを開催しました。12家族47人がつめかけ、アマチュアマンドリン音楽グループが奏でる演奏に耳をかたむけました。前半のステージでは、となりのトトロやミッキーマウスマーチなど子どもたちに人気の楽曲が演奏されました。後半はラテン音楽などが披露されましたが、子どもたちも実際にラテン楽器のボンゴやコンガ、マラカスを使い、演奏に加わったのです。参加した子どもたちは初めて触るラテン楽器に緊張を隠せない様子でしたが、音楽グループのメンバーからマンボのリズムや叩き方の手ほどきを受けながら徐々に笑みを取り戻し、楽しむようになりました。



ボンゴ、コンガを叩く子どもたち

### ～親子ボウリング大会～



ほらっ、投げることができたよっ

光陽台自治会では8月20日（日）親子ボウリング大会が開かれました。この取り組みは夏休みと冬休みの年2回行われています。「子どもたちに思い出づくりをしてあげたい」と企画しました。会場のボウリング場には親子16人が参加。子どもの小さな手にはとても重く、扱いにくいボウリングボール。でも、真剣なまなざしで一生懸命転がしていました。廣瀬自治会長は「私たちの自治会では来年は今年以上に児童数が少なくなりますが、何とか工夫して、親子が触れ合える機会を模索したい」と話していました。

（広報委員 大澤 一男）

## 第17地区楽しかったふれあいの会ウォーキング大会



みんなまだまだ疲れていない

9月30日（土）、第17地区ふれあいの会（会長小曾根正一、4行政区下片田、大和田上、大和田下、新和田）主催の初めてのウォーキング大会が、300名近くの人々が参加して開催されました。コロナ禍前まで開催していた夏まつりに替えて行った行事であります。大和田小学校をスタート、ゴール地点とし、途中、（株）野本電設工業様の日本庭園を見学して、約1時間の楽しく健康的な一時を過ごしました。その後お囃子会、キッズダンスの披露があって、お囃子では子どもたちも一緒に太鼓を叩いてみんなノリノリになっていました。軽食のうどんをいただき、夜空に打ち上げられた花火を堪能して、楽しい1日を終わりました。ふだん会うことの少ない人たちと会えて、コミュニケーションを取れたことも有意義な大会であったことと思います。

（広報委員 増田 清次）



僕にも太鼓教えてちょうだい



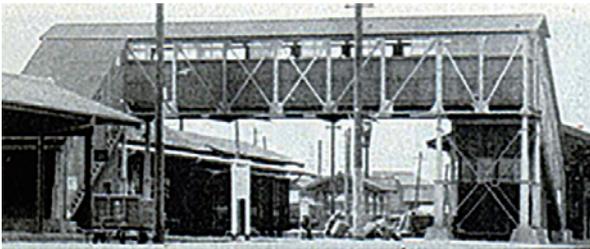
息の合った見事なキッズダンス



歩いたあとのうどんうま～

# 市内歴史散歩（第30回） 古河駅 茨城県初の鉄道と駅舎（人々の夢を乗せて）

明治18年（1885年）7月16日、日本鉄道 大宮駅—宇都宮駅間の開業と同時に古河駅が開設されました。しかしながら、開設当時は利根川の架橋は完成しておらず（当時の技術では利根川に鉄橋を架ける技術は難易度の高いもので、完成した鉄橋は日本最長を誇っていたそうで、明治天皇も徒歩で渡ったとされています。）、栗橋駅—古河駅間の利根川畔に中田仮停車場が設けられていました。古河を通る東北本線は茨城県の最初の鉄道路線になり、古河駅は県内初の駅舎となったのです。その後古河駅は大正14年に古河駅陸橋工事（予算約7,000円）昭和11年の駅舎改築（当時は西口のみ）を経て高架線以前の駅舎へと変貌を遂げていったのです。当時の跨線橋脚部の鉄骨は現在も古河駅東ロータリーの鉄骨製のあずまやの4本柱として使われています。



昭和初期の跨線橋



下車する人々 西口の風景

## 「まかねしくなかちのはても霞むまでひらけ行世のはるにもあるかな」

古河出身の国学者堀秀成が明治5年、宮中新春の歌会で詠んだ歌です。鉄道が敷設される、その長い道の果てが霞むほど遠く伸びてゆく、このように世の春は開けてゆく。鉄道は皆の夢だった事を垣間見る事ができます。実際に鉄道の開通は地域産業と密接な関係を持つことにより、日本の近代化を支えたレンガ工場、製糸工場あるいは日本初の輸出茶である猿島茶やビールの原料の麦、いずれも古河駅を通じて各方面へと運ばれ、日本の発展、古河市の発展に大きく寄与しました。古河駅が開業して139年。当時の人々の想像を遥かに超える発展をしてきた現在の古河市。この後、100年後には私たちの想像もつかない未来が待ち構えているに違いありません。懐かしい昔の記憶と共に、明るい未来への期待に思いを巡らせ、次の世代の方々へと繋いでいけたらと思います。

（広報委員 鶴見 尚司）

### 編集後記

一年の締めくくりでもある12月。

新年を迎えるための準備や、年内に終わらせたい仕事などで忙しい日々を送る人も多いでしょう。忙しさのあまり、気が付いたら年末だったということもあるかもしれませんが、この一年、良かったことは記憶に残し、悪かったことは一切忘れて素晴らしい新年（辰年）をお迎えください。

（広報委員長 長濱 忍）

### 行政自治会広報委員会

委員長

長濱 忍

委員

鶴見 尚司 関 一郎

大澤 一男 白戸 正

知久 貴 梅津 信男

増田 清次 小林 浩二

「こがでくらすと」ブランドムービーはこちらから

